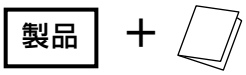
取扱説明書 (品番：3DA)

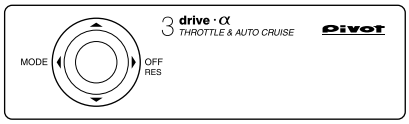
この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

●製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



加速、減速、復帰も操るクルスロ

3 drive・α
THROTTLE & AUTO CRUISE



目 次

ご使用のまえに …… 1～2
セット内容 …… 2
製品の特長 …… 2～3
特 長 …… 2
各部の名称・表示の種類 …… 3
警告・注意 …… 3
手順1 配線接続方法 …… 4～5
ブレーキスイッチ …… 4
車速信号・アース・リバース信号・専用ハーネス …… 5
手順2 製品の固定 …… 6
手順3 初期設定（アクセル開度設定） …… 7
手順4 車速パルス設定 …… 8
テスト走行 …… 8
基本動作 …… 8
操作方法 …… 9～11
スロコン操作方法 …… 9
オートクルーズ操作方法
セット・解除・速度を変える …… 10
復帰・レベル調整 …… 11
故障かな？と思ったら …… 11～12

装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」（⇒7ページ）を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

純正オートクルーズ装着車には取付できません

純正ECU以外は装着不可

ECU が純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合は取付できません。

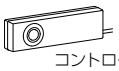
製品の取り外し時はノーマルモード

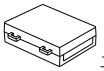
製品を取り外す時は、**nor**（ノーマル）モードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

内容物をご確認ください


コントローラー
［78×22×14(D)mm］


ユニット
［50×22×70(D)mm］

L字ステー

電源コード

カットギボシ ×4

両面テープ
［45×14mm］×2
［25×35mm］×1

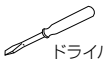
インシュロックバンド
(大)×2、(小)×2

検電テスター

取扱説明書（本書）

配線一覧表

装着時に準備する道具と材料


ドライバー

ニッパー

圧着ペンチ

絶縁テープ

など

特 長

加速、減速、復帰も操るクルスロ。

オートクルーズ
AUTO CRUISE

加速、減速、復帰も操るクルスロ
SET 加速 減速 復帰 解除 がスイッチで操作できる。

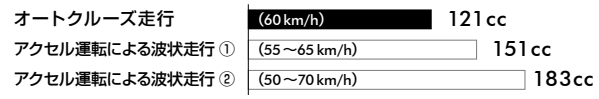
乗り心地の良い制御　揺れと速度差の少ない制御。

安全性　ブレーキで即解除など、安全優先システム搭載。

設定速度　30 ～ 140km/h

速度変更　製品スイッチまたはクルマのアクセルペダルにて変更が可能。(スイッチを押すごとに2km/h、または押し続けて変更)

燃料消費量比較



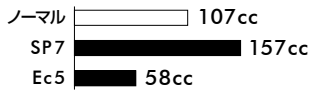
本数値は実走行試験結果の一例で、クルマや道路環境などで異なる場合があります。
車種＝スズキ ワゴンR (MH23S) ／道路勾配＝上り平均1.5度／距離＝1.5km
※波状走行とは、設定速度の上下を周期的にアクセル操作したものです。

スロコン
THROTTLE CONTROLLER

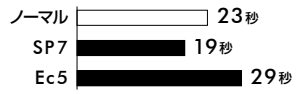
SPORTS & ECO　アクセルレスポンスをスポーツ7段階・ECO 5段階・ノーマルの3モード12段階に調整可能。

モニター　エコ運転などに便利なアクセル開度モニター付き。

燃料消費量比較

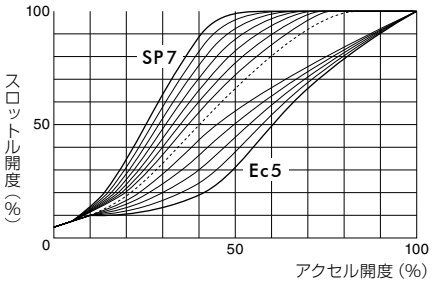


加速時間比較

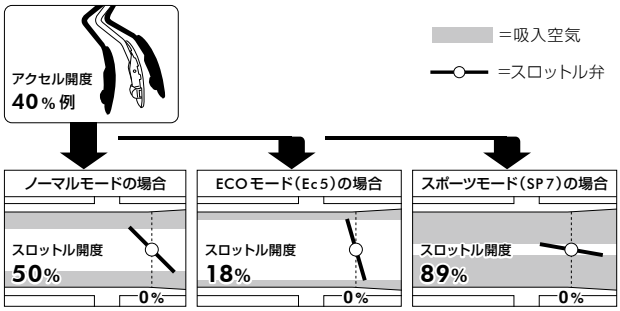


SP7＝スポーツモード最大　Ec5＝ECOモード最大
車種＝ホンダ ステップワゴン（RG1）／距離＝0 ～ 400m ／アクセル開度30%固定

スロットル開度変化

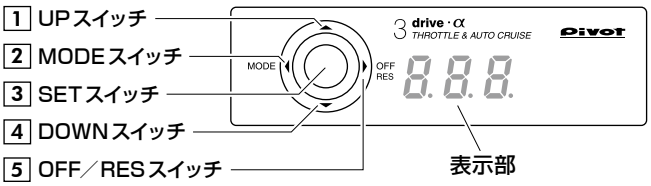


SP7＝スポーツモード最大　Ec5＝ECOモード最大
----------　ノーマル
車種＝スズキ スイフト（ZC31S）



※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

各部の名称



表示部の消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。

番号	オートクルーズOFF時	オートクルーズ走行時
1	各モードの変化率切換	設定速度を上げる
2	・モード切換 ・アラーム音ON／OFF	レベル調整
3	オートクルーズセット	現在の速度で再セット
4	各モードの変化率切換	設定速度を下げる
5	オートクルーズ復帰（リジューム）	オートクルーズ解除

表示の種類

使用中の表示

表示	説明
SP1～SP7	スポーツモード（数字が大きい＝レスポンスが高い）
Ec1～Ec5	ECOモード（数字が大きい＝レスポンスが低い）
nor	ノーマル（純正状態）
A□□	アクセル開度表示
Acc	オートクルーズ動作中
Hi/Lo	オートクルーズ設定速度を上げる／下げる
rES	オートクルーズ復帰開始（リジューム）
bAc	リバース時（スポーツモード中のみ）
- - -	オートクルーズ中止（車速）
-b-	オートクルーズ中止（ブレーキ）

設定中の表示

表示	説明
cAr	初期設定モード
L□□	アクセルを踏まない位置
H□□	アクセルを奥まで踏んだ位置
SEt	入力完了
PLS	車速パルス設定モード
P□□	車速パルス数
L-□	オートクルーズレベル調整
on/oFF	アラーム音ON／OFF

⚠警告

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- ●初期設定はギヤをPまたはNにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。
- ●換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- ●コードの被ふくを傷付けないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。
- ●走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。
- ●配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠注意

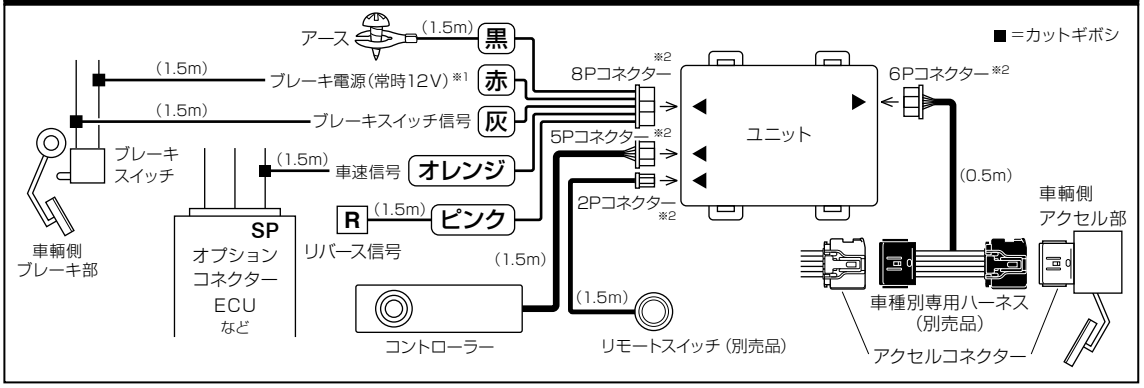
右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- ●間違った設定や使用方法による車輌、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ●装着できる車種かどうかは、3-drive·α対応車表でお確かめください。
- ●本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- ●間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。
- ●エレクトロタップは使用しないでください。
- ●配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出ていないかをお確かめください。
- ●お手入れは乾いたやわらかい布（めがね拭き）で拭いてください。
- ●アルコール・ベンジンなどは使わないでください。プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。
- ●加工・分解および改造は行わないでください。

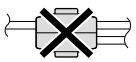
手順1 配線接続方法

基本配線

取付の際は必ず車種別専用ハーネスをご使用ください。



※1　ヒューズ切れ時にオートクルーズを正常に解除させるため、赤コードは必ず指定の場所に配線してください。
※2　コネクター差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。



●車輌側コードへの接続時は、通電不良の原因となるため、「エレクトロタップ」を使用せず、付属のカットギボシを使用するか半田付けをし、テープで絶縁処理を行ってください。

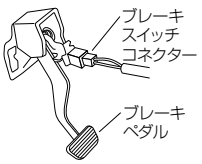
●ブレーキスイッチコネクターは車種、グレード、年式などで異なる場合がありますので、「配線一覧表」で形状を確認してください。

●配線作業は必ずバッテリーの ⊖ 端子を外して行ってください。

ブレーキスイッチ（ブレーキ電源とブレーキスイッチ信号）

赤 **ブレーキ電源へ（常時12V）**

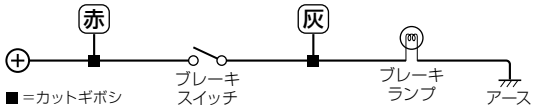
灰 **ブレーキスイッチ信号へ**



●ブレーキスイッチコネクターからのコードは2本または4本以上の場合があります。「配線一覧表」で接続場所を確認し、検電後に接続してください。

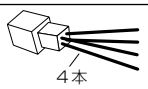
●接続完了後は必ずブレーキランプの点灯確認を行ってください。

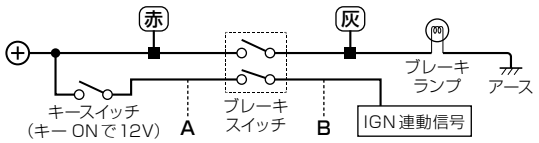
コネクターのコードが2本の場合



コネクターのコードが4本以上の場合

コードが4本以上の場合、下記A・Bの場所には接続しません。(各コード接続場所の検電方法は下記のとおりです。)





検電方法（⇒ 5ページ【参考1】検電テスター（付属品）の使い方参照）

1.キースイッチはOFFでギヤはP（パーキング）またはN（ニュートラル）
2.別紙「配線一覧表」で指定された接続場所の端子部を検電確認

製品コード色	ブレーキ踏まない	ブレーキ踏む	
赤	✹（12V）	✹（12V）	ブレーキ電源
灰	○（0V）	✹（12V）	ブレーキスイッチ信号

✹＝検電テスター点灯　○＝消灯

※コードが4本以上の場合、残りのコードには配線しません。

配線方法を選んでください

「直接接続」か**「ブレーキハーネス」**から配線方法を選んで作業を行ってください。

①指定の接続場所は検電確認を行ってから接続してください。
②未確認の車種は検電確認を行い、接続してください。

直接接続の場合

「配線一覧表」の"接続番号"のコードへ、赤と灰コードを付属のカットギボシを使用して接続してください。
(⇒ 5ページ【参考2】カットギボシの使い方参照)

配線一覧表

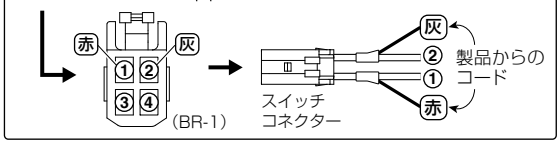
⚠ 表中の"ブレーキハーネス接続コード色"は、クルマ側のコード色ではありません。

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合

TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続 接続番号		ブレーキハーネス 接続色	
			製品のコード色			
			赤	灰	赤	灰
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	①	②	青	黄

接続番号



ブレーキハーネス（別売品）使用の場合

「配線一覧表」の"ブレーキハーネス接続色"へ、赤と灰コードを接続してください。
(詳しくはブレーキハーネス取扱書を参照してください。)

配線一覧表

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合

TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続 接続番号		ブレーキハーネス 接続色	
			製品のコード色			
			赤	灰	赤	灰
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	1	2	青	黄

接続色

車速信号

オレンジ　別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボシを使用し接続。
（下記【参考2】カットギボシの使い方参照）

配線一覧表

※三菱・スズキ・日産の一部車種は別途車速パルスアダプターが必要です。
※接続は車輌側コードの指示された場所に行ってください。
（CAN-BUSアダプターには接続しないでください。）

アース

黒 アース端子付　アースが取れる金属部のネジに固定する。

※プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

リバース信号

リバース配線を行うと、スポーツモードでのR（リバース）時、ノーマル状態に自動的に切り換わります。また、このときはオートクルーズセットもできません。

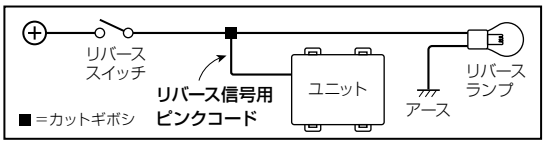
※リバース時のアクセル開度は小さく、急加速はしませんので、必ずしもこの配線を行う必要はありません。
※ECOモード・ノーマルモード中は動作しません。

ピンク　●ギヤ位置
R（リバース）時＝12V、その他の位置＝0V

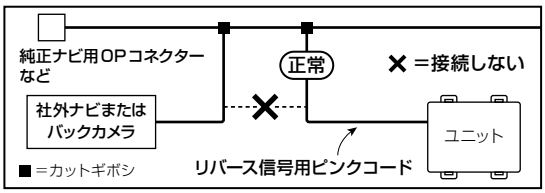
（検電方法） キースイッチON（エンジンは始動しない）でギヤをリバースへ動かす。

（接続方法） 先端の黒チューブをカットし、下記の要領で接続

■リバース信号へ接続する場合



■純正ナビ用オプションコネクターなどへ接続する場合
社外ナビゲーションのリバースケーブルへは接続しないでください。

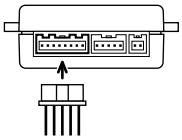


（接続の確認） リバース信号が入力されるとスポーツモード中のみ bAc 表示し、ノーマルモードに切り換わります。

コネクターの差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。

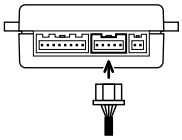
電源コード

8P コネクター　ユニット側面へ接続。



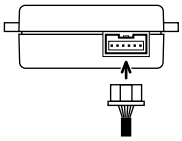
コントローラー

5P コネクター　ユニット側面へ接続。



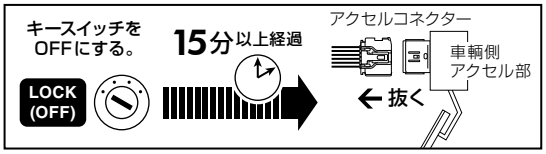
車種別専用ハーネス（別売品）

6P コネクター　ユニット側面へ接続。



⚠ **アクセルコネクターの取り外しは**
キー OFF後15分以上経過してから行ってください。

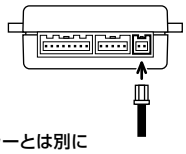
車種によってはチェックランプ点灯の原因になります。
（チェックランプ点灯の場合⇒12ページ「チェックランプ消灯方法」参照）



※アクセルコネクターへの装着方法は、各専用ハーネス付属の説明書を参照してください。

リモートスイッチ（別売品）

2P コネクター　ユニット側面（予備）へ接続。



オートクルーズのセットと解除がコントローラーとは別にリモートスイッチでも行えます。ワイパーレバーへの取り付けも可能。
品番：LSW　¥2,286（税別）

オートクルーズを使用しない場合の配線

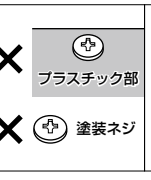
赤 ＝常時12V（ブレーキ以外でも可）
黒 ＝アース
灰 オレンジ ＝どこにも接続しない

●一部の車種において、電流容量不足から付属検電テスターやLED検電テスターが使用できない場合があります。その場合はアナログテスター等をご使用ください。

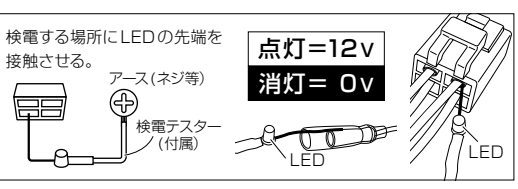
【参考1】検電テスター（付属品）の使い方

1 アースをするネジを緩め、コードの先端（芯線）を入れ締める。

※アース用ネジは金属に固定されたネジを使用してください。プラスチック部に固定されたネジや塗装ネジでは絶縁状態になり、通電しません。



2 検電する場所にLEDの先端を接触させる。



【参考2】カットギボシの使い方

1	2	3	4	5	
10mm 接続するコードの被ふくをむく。	10mm 製品コード先端の被ふくをむく。	両方の芯線を絡める。	確実にかしめる。	ビニールテープで絶縁する。	かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

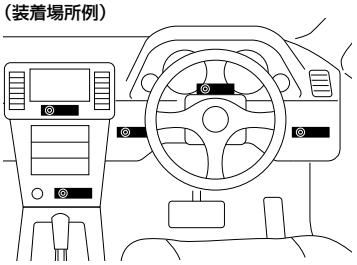
手順2 製品の固定

⚠ **配線はテープなどで収納してください。** 使用中に配線がからまると運転操作に支障をきたします。
また、コードが挟み込まれると、ショートなどの原因となり、大変危険です。

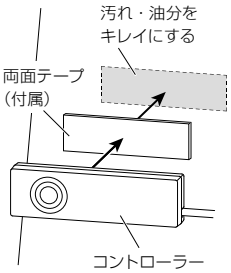
コントローラーの固定

できるだけ表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

(装着場所例)

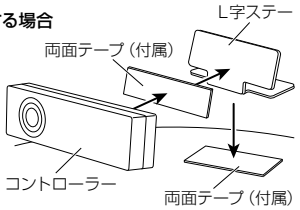


●平面に固定する場合

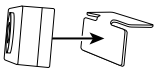


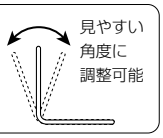
●L字ステーを使用する場合

付属のL字ステーを使うと曲面や斜めのダッシュボード上にも見やすく装着できます。



※ステーは逆向きにも使用できますので、お好きな向きに取り付けてください。

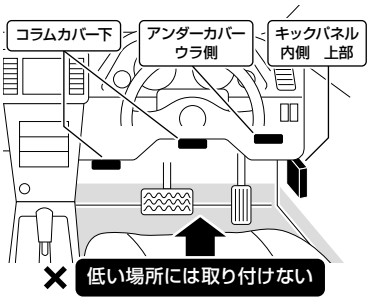




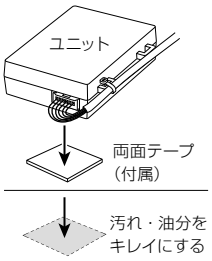
ユニットの固定

下図のような水のかからない場所に固定してください。

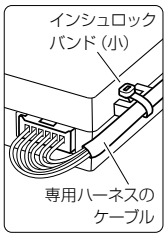
(装着場所例)



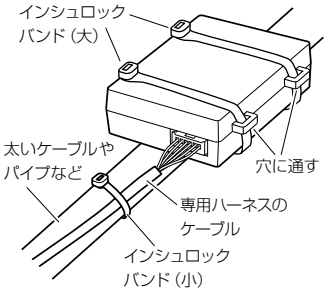
●平面に固定する場合



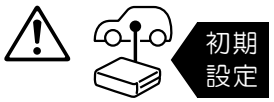
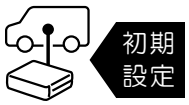
専用ハーネスのコネクターが抜けないよう、ケーブルを固定してください。



●ケーブルやパイプなどに固定する場合



手順3 初期設定（アクセル開度設定） 必ず行ってください。

はじめて装着したとき	違うクルマに装着したとき
	

- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

⚠ 1. 設定はすべての配線（コネクター装着）後に行ってください。
2. 設定は **キー ON** ・ **エンジンを始動しない** ・ギヤ位置 **P**（パーキング）または **N**（ニュートラル）で行ってください。

【設定方法】 ■ ＝コントローラー表示 （ ）内は補足説明

1 キースイッチをONにする
（エンジンは始動しない）

- nor と表示されます。 nor （ノーマルモード）

⚠ 表示が nor 以外の場合は、MODEスイッチを押し、nor にしてください。

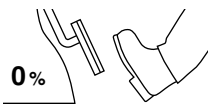
2 UPスイッチを10秒長押しし、表示を 0 にする

cAr ⇒ -5- -4- … -0-
（cAr 点滅表示後、5〜0カウントダウン）

3 表示 0 でUPスイッチはなす

-0-

4 アクセルペダルを踏まない
（アクセル0%状態にする）



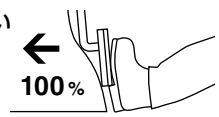
（例） L 1.5
（電圧表示 例＝1.5V 各表示数値は車種により異なります。）

5 アクセル0%状態でSETスイッチを押す

- SEt と表示されます。 SEt

0%状態を設定

6 アクセルペダルを奥いっぱいまで踏み込む
（アクセル100%状態にする）



（例） H4.5
（電圧表示 例＝4.5V 各表示数値は車種により異なります。）

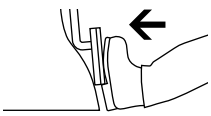
7 アクセル100%状態でSETスイッチを押す

- SEt と表示されます。 SEt

100%状態を設定

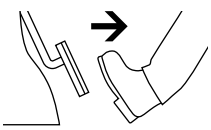
⚠ Err 表示になる場合
Err 表示後 4 の表示（L 1.5 など）に戻る場合は、アクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 4 からやり直してください。

8 表示が 100 に変わるまでアクセルペダル踏み続ける



SEt ⇒ nor ⇒ 100

9 表示が 100 に変わったらアクセルペダルをはなす

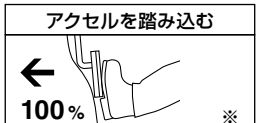


100 ⇒ nor

10 **設定完了**

他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。
設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。

設定の確認（表示が違う場合は再度 2 から行ってください。）

アクセルを踏まない	アクセルを踏み込む
	

※アクセルの特性上または踏み方によって、A95（95%）の表示になる場合があります。

手順4 車速パルス設定

設定するパルス数は別紙「配線一覧表」を参照してください。

1 キースイッチをONにする
（エンジンは始動しない）

●nor と表示されます。 nor （ノーマルモード）

⚠ 表示がnor以外の場合は、MODEスイッチを押し、norにしてください。

2 DOWNスイッチを3秒長押しする

●PLS と表示されます。 PLS

3 DOWNスイッチをはなす

● パルス数が表示されます。 P00

4 UP／DOWNスイッチを押し、設定するパルス数を選択する

P-2 ⇔ P-4 ⇔ P-8 ⇔ P16
（出荷時設定）

5 3秒間操作なしで点滅表示 P00

6 5秒間操作なしで点滅表示からノーマルモードに戻る nor **設定完了**

⚠ 車速パルス設定は正しく行ってください。正しく設定されていないと、オートクルーズ設定可能速度の約30 ～ 140 km/h以内でも、オートクルーズをセットすることができません。

テスト走行

各配線と「初期設定」「車速パルス設定」が完了したら、低速で簡単な確認を行ってください。

⚠ **テスト走行は、歩行者や交通量の少ない、安全な広い場所で行ってください。**
本書をよくお読みいただき、操作方法をご理解の上で行ってください。

1 エンジン始動

2 走行開始（35～40km/h）

3 SETスイッチ押す

4 設定速度で自動走行 Acc

○ Acc 表示になる
⇒ 各配線・設定は問題ありません。

× Acc 表示にならない
⇒ 右の各項目を確認してください。

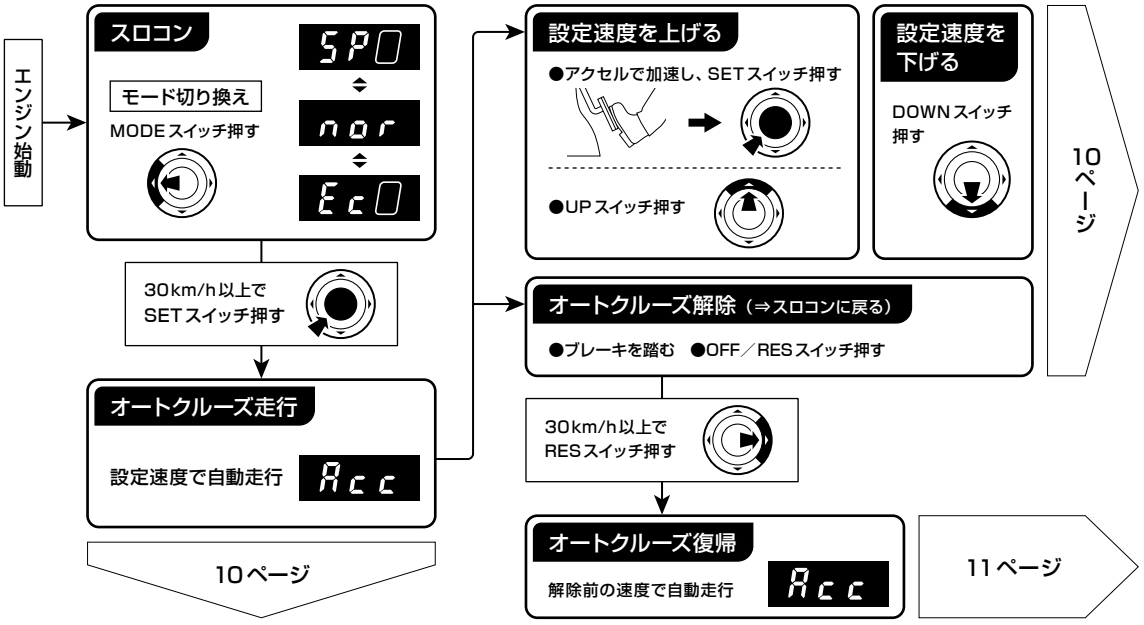
● -b- が表示される場合 -b-
灰コードの接続不良 ⇒4～5ページ
ピンクコードの配線間違い ⇒5ページ

● --- が表示される場合 ---
車速パルス設定不良 ⇒8ページ
オレンジコードの配線間違い ⇒5ページ

●スイッチを押しても表示が切り換わらない場合
初期設定不良 ⇒7ページ

オートクルーズ解除方法 ●ブレーキを踏む ●OFF／RESスイッチ押す

基本動作



スロコン操作方法

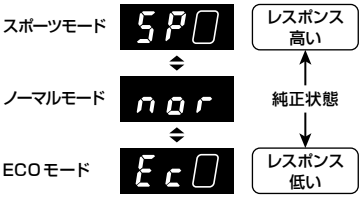
レスポンスの切り換え

各モードのレスポンス設定をします。

モード切り換え

1 エンジン始動 START

2 MODEスイッチ押すごとに モード切り換わり 押す



※安全上、モード切換は必ずnor（ノーマル）を経由します。

リレー音について

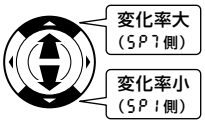
nor 切り換え時には安全上リレーが動作し、カチッという音がします。

各モード変化率切り換え

⚠ **変化率調整は、加速の状態を確認しながら最小値から徐々に上げてください。**

●スポーツモード変化率切り換え

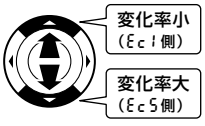
SP0 表示中、

UP／DOWNスイッチ押すごとに切り換わり 

変化率最小 SP1 (+10%) ⇔ SP2 (+20%) ⇔ SP3 (+30%) … SP6 (+60%) ⇔ SP7 (+70%) 変化率最大

●ECOモード変化率切り換え

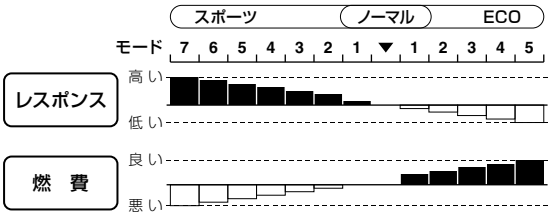
Ec0 表示中、

UP／DOWNスイッチ押すごとに切り換わり 

変化率最大 Ec5 (−50%) ⇔ Ec4 (−40%) ⇔ Ec3 (−30%) ⇔ Ec2 (−20%) ⇔ Ec1 (−10%) 変化率最小

⚠ **各モード記憶**　各設定はエンジンOFFでも記憶されています。ただし、操作後2秒以内にエンジンを停止すると記憶されません。

【参考1】各変化率でのレスポンスと燃費の変化例



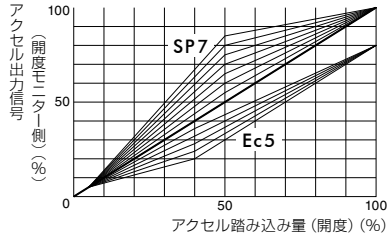
※ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。

※レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

【参考2】基本制御特性

全域で段付のないスムーズな制御を行います。

アクセル踏み込み量（開度）対アクセル出力信号



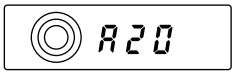
アクセル開度モニター

アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側) [15～100%まで、5%単位]

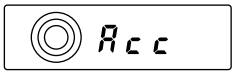
アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。

※ECOモードでは100%踏んでも出力信号は80%となります。

※アクセルセンサーの特性上またはアクセルの踏み方によっては95%までの表示になる場合があります。(スポーツ・ノーマルモード中のみ)



アクセル開度（出力側）20%時



オートクルーズ動作中
（開度表示なし）

用途 1　エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15～25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用すると効果的です。

用途 2　運転中のアクセル操作チェック

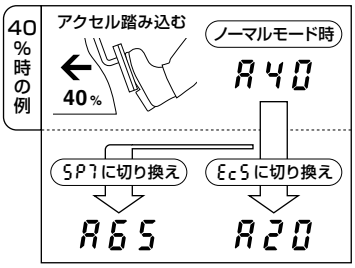
ECOモード以外でもアクセル開度をチェックできます。

用途 3　制御状態のチェック

キーON（エンジン停止）状態のとき、ノーマルモードでアクセルを40%（A40）まで踏み込み、モードをSP7にすると表示は出力65%（A65）となり、Ec5では20%（A20）となります。

[⇒上記「基本制御特性グラフ」参照]

※表示は多少異なる場合があります。



オートクルーズ操作方法

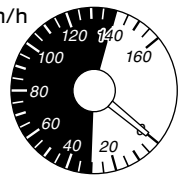
オートクルーズをセットすると、アクセルペダルを踏まなくても設定した速度で自動走行できます。

⚠
- ●オートクルーズは運転を補助する装置にすぎませんので、「法定速度」を守った「安全運転」を行ってください。
- ●オートクルーズは次の状況では危険ですので使用しないでください。
  ①滑りやすい路面（雪、凍結） ②渋滞時 ③急カーブや急な坂
- ●急な上り坂ではエンジン性能以上の加速はできません。また、急な下り坂ではエンジンブレーキ以上の減速はできませんので、ブレーキを併用してください。
- ●エンジン回転が上がるため、オートクルーズ走行中にギヤをN（ニュートラル）などDレンジ以外にしないでください。

【設定可能速度】

約30～140km/h

純正メーターでは、表示誤差から**35～145km/h**くらいでの設定になります。



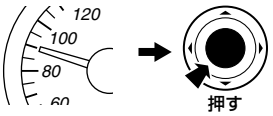
セットする

1 エンジン始動

2 モード表示

3 走行開始
（30km/h以上）

4 設定したい速度で SETスイッチ押す



※1 できるだけ速度変化の少ない状態で行ってください。
※2 急な上り坂では、セット時、多少減速してから安定走行になります。

⚠ **セット時には急激なアクセル操作はしないでください。**

リレー音（カチッ）について

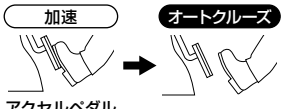
norでのセット時はリレーの動作音がします。気になる場合は、SP1またはEc1に切り換えてご使用ください。

5 設定速度で自動走行

加速時以外はアクセルを踏まないでください。

【一時的な加速方法】

① アクセルペダルを踏むと加速
② はなすと 5 の速度に戻りオートクルーズ



解除する

次のいずれかの方法を行ってください。

OFFスイッチ押す

または

ブレーキペダルを踏む

⇒ オートクルーズが解除され、スロコンに戻る

【自動解除】

●速度が15km/h以下になった場合

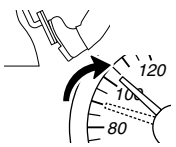
設定速度を変える

次のいずれかの方法でオートクルーズ走行中に速度調整ができます。

アクセルで加速し設定速度を上げる場合

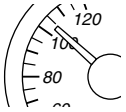
（オートクルーズ走行中）

1 アクセルペダルを踏み、設定したい速度まで加速する



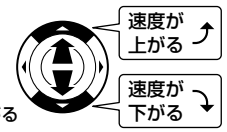
2 SETスイッチ押す

3 設定速度で自動走行



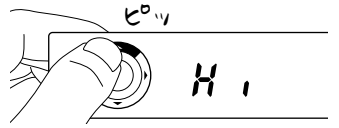
UP／DOWNスイッチを押し設定速度を変える場合

（オートクルーズ走行中）



●UPスイッチ押す ⇒ Hiが表示され設定速度が上がる
●DOWNスイッチ押す ⇒ Loが表示され設定速度が下がる

1回押すごとに2km/h
2回押すと4km/h、3回押すと6km/h…



押すごとにピッと音が鳴り、**約2km/hずつ加速（または減速）**します。押した回数に応じた速度まで加速（または減速）し、自動走行します。

設定したい速度まで押し続ける

ピッと1回鳴った後ピッピッピッという連続音に変わります。**押している間加速（または減速）し続け**、はなしたときの速度で自動走行します。

※アラーム音をOFFにしていると、音は鳴りません。
※エンジンブレーキ以上の減速はできませんので、急な下り坂などでは減速しない場合があります。

復帰させる

オートクルーズ解除後、スイッチを押すだけで解除前の設定速度に復帰します。

1 オートクルーズ解除

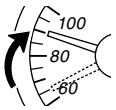
2 通常走行（30km/h以上）

3 RESスイッチ押す

4 rES が5秒間表示され、Acc に切り換わる

rES ⇒ Acc

5 前回の設定速度まで自動で加速（または減速）し、自動走行



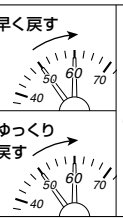
※安全のため、オートクルーズ解除後に車速がいったん**10km/h**（メーター読みでは15km/h）以下になると、解除前の設定速度はリセットされ、オートクルーズ復帰できません。

レベル調整

上り坂などで一時的に下がった速度を設定速度に戻す時間は、エンジン性能（出力）の違いによって変わります。
レベル調整を行うことで、速い加速（設定速度に早く戻る）と遅い加速（乗り心地が良い）のバランスをお好みで調整できます。

レベル調整は走行条件やクルマでも異なる場合がありますので、下記はあくまで参考例とし、お好みで調整してください。（製品出荷時は L-3 の設定です。）

L-5 側（速い加速）小排気量車向け	エンジン出力が小さいクルマで、設定速度に戻る時間を早くしたい場合は L-5 側に上げてください。	早く戻す
L-1 側（遅い加速）大排気量車向け	エンジン出力が大きいクルマで、設定速度に戻る時間が早く、急な加速で乗り心地が悪い場合は L-1 側に下げてください。	ゆっくり戻す



【設定の参考例】

L-5	アルト
L-4	マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR
L-3	ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・ステップワゴン・スイフト
L-2	ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV・RX-8

⚠ **走行中のスイッチ操作や表示の注視は事故の原因となりますので、安全に十分配慮して行ってください。**

【設定方法】

Acc（オートクルーズ走行中）

1 MODEスイッチ押す

2 現在のレベルを表示

L-□

3 MODEスイッチ押すごとに切り換わる

L-1 ▸ L-2 ▸ L-3 ▸ L-4 ▸ L-5

レベル小側　（出荷時設定）　レベル大側

故障かな？と思ったら

基本動作と車輌関係

症　状	原　因	対　策
キースイッチONで表示が点灯しない、または使用中に表示が消灯する。	車輌のブレーキヒューズ切れ。	再度ご確認ください。
	赤 黒 コードの配線間違い、または接続不良。	
	5Pコネクター 8Pコネクター 6Pコネクター の接続不良。	
	専用ハーネス の接続不良。	
	専用ハーネス の品番間違い。	
キースイッチONでドットのみの表示になる。 .	黒 コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
チェックランプが点灯した。	「キー ON」または「キー OFF後15分以内」に**アクセルコネクター** または 専用ハーネス を抜いた。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。（⇒ 本書12ページ）
	「初期設定」が行われていない。	「初期設定」（⇒ 本書7ページ）を行い、チェックランプを消灯させてください。（⇒ 本書12ページ）
	ノーマルモード以外で取り外した製品を別のクルマに接続した。	ノーマルモードに戻してから「初期設定」（⇒ 本書7ページ）を行い、チェックランプを消灯させてください。（⇒ 本書12ページ）
初期設定または車速パルス設定に入れない。	オレンジ コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	走行中のため。	停車状態で行ってください。
初期設定中に Err 表示になる。 Err	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。（⇒ 本書7ページ）
エンジンをOFFにしても表示が点灯している。	本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症　状	原　因	対　策
モードを切り換えても変化を体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。 (⇒ 本書7ページ)
モードまたは変化率の設定が記憶されない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにキーをOFFにしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2秒以上経ってからキーをOFFにしてください。
スポーツモード中、リバース時に bAc 表示にならない。 × bAc	(ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	社外ナビのリバースケーブルに接続している。	リバース配線を行ってください。(⇒ 本書5ページ)
	リバースランプをLEDに交換している。	●純正のリバースランプに戻してください。 ●リバース配線を行わないでください。

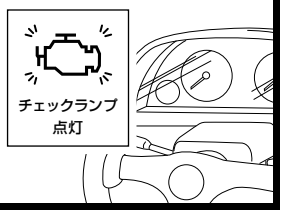
オートクルーズ関係

症　状		原　因	対　策	
-b- 表示になり、オートクルーズが動作しない。 -b-		(灰) (ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。	
		ブレーキランプをLEDに交換している。	純正のブレーキランプに戻してください。	
--- 表示になり、オートクルーズが動作しない。 ---		(オレンジ) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。	
		設定可能速度外。		
		「車速パルス設定」が正確に行われていない。	「車速パルス設定」を行ってください。 (⇒ 本書8ページ)	
SETスイッチを押しても表示が切り換わらずオートクルーズが動作しない。		「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。 (⇒ 本書7ページ)	
オートクルーズが自動で解除され、スロコンに切り換わる。	無音	(灰) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。	※オートクルーズを再度お使いになるには、キーをOFFにし、表示が消灯したことを確認してからエンジンをかけ直してください。
	ピーという音がする	(オレンジ) (ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。		
		「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書7ページ)	
		速度が15km/h以下になった場合は自動で解除されます。		
急な上り坂でオートクルーズの設定速度との差が大きい。		オートクルーズレベル調整がレベル小(L-1側)になっている。	「オートクルーズレベル調整」を行ってください。 (⇒本書11ページ)	
オートクルーズの設定速度に戻る加速が強く感じる。		オートクルーズレベル調整がレベル大(L-5側)になっている。		

ヒント チェックランプ消灯方法

間違った操作などでチェックランプを点灯させてしまった場合は、下記の方法で消灯させてください。

① 正常状態でエンジン始動と停止を数回繰り返してください。
② ①を行っても消灯しない場合は、バッテリーマイナス端子を10分程度外してください。
③ ① ②を行っても消灯しない場合は、カーディーラーなどで専用機器を使用して消灯作業を行ってください。



ヒント アラーム音OFF方法

オートクルーズセット時のアラーム音を消したい場合は、MODEスイッチを長押ししてください。

(エンジン始動時)
MODEスイッチ長押し

⇒ OFF

※オートクルーズ走行中に設定の変更はできません。
※元に戻したいときはもう一度同じ操作を行ってください。
※アラーム音設定をOFFにしていても、初期設定または車速パルス設定を行うとアラーム音設定はONになります。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれています。
※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL 0263-46-5901（代）　http://pivotjp.com/